

一般社団法人山口県医師会令和元年度第16回理事会

1 1月21日（木）午後5時～6時37分

河村会長、林・今村両副会長、加藤専務理事、萬・藤本・沖中・中村・清水・前川各常任理事、白澤・山下・伊藤・吉水・郷良・河村・長谷川各理事、藤野・篠原・岡田各監事

協議事項

1 働き方改革の推進に係る県社労士会との協定について

山口県社労士会は、平成30年12月に山口県・山口労働局との包括的な連携協定締結を契機として県内団体との協定締結を進めており、本会に対しても協定締結の要望があったが、現在、社労士業務は各医療機関が個別に対応していることから、本会としては協定締結しないことを決定した。

2 学会発表・論文投稿における倫理審査委員会の設置について

会員（開業医）から、学会発表・論文投稿のため、本会での「倫理審査委員会」設置の要望があったが、外部からの申請を受け付ける倫理審査委員会を設置している大学等もあり、現在のところ他からのニーズもないことから、検討課題とすることを決定した。

3 令和2年度臨床研修医歓迎会について

来年度の臨床研修医歓迎会を令和2年4月4日（土）に山口グランドホテルにおいて、オリエンテーション及び懇親会の2部構成で開催することを決定した。

4 台風被害による被災医療機関等に対する支援について

日本医師会より、台風19号及び21号により被災した医療機関及び郡市区等医師会への支援金の依頼があった。郡市医師会を通じて本会会員へ協力要請をすること、本会から50万円、本会役員から20万円を支援することを決定した。

また、中国四国医師会連合として、「東北」及び「関東甲信越」の各医師会連合に見舞金を送ることが承認された。

5 公開フォーラム「(仮) みんなで学んでぶち元気～令和やまぐちのおくすり情報～」の名義後援について

県民の方々に「医薬品」についての理解を深めていただくことを目的として、山口放送株式会社が主催する標記フォーラムの名義後援をすることを決定した。

6 令和2年「難病支援シンポジウム in 山口」の名義後援について

難病や難病と共に生活している患者等からなる「日本 ALS 協会山口県支部」の活動について、市民に理解を深めていただくことを目的とした標記シンポジウムの名義後援をすることを決定した。

7 県立美術館共通法人サポーターズ制度への加入について

県立美術館より、来年度創設する法人向けの支援制度への加入依頼があり、プラチナ会員として加入することを決定した。

8 令和元年度地域医療介護総合確保基金（医療分）の内示について

11月18日に国から県へ内示のあった標記基金の内容について、情報提供を行った。

人事事項

1 思春期グローイングハートプロジェクト事業推進委員会の委員について

今年度から実施している「思春期グローイングハートプロジェクト事業」の「心理教育プログラム」の検証及び改善を図るため、山口県教育委員会教育長から標記委員会の委員の推薦依頼があり、藤本常任理事を推薦することを決定した。

報告事項

1 日医第4回学術推進会議（X）（11月7日）

新しいAIの方向性に関する協議を行った。（河村会長）

2 山口県助産師出向支援導入事業協議会（11月7日）

今年度の助産師出向支援導入事業の計画と進捗状況、助産師出向を推進する上での課題と対策等について協議を行った。（沖中）

3 山口県医療的ケア児支援地域協議会（11月7日）

医療的ケア児支援に関する国の動き、山口県における取組みと実態調査結果、今後の取組みについて協議を行った。（前川）

4 広報委員会（11月7日）

会報主要記事掲載予定（12～2月号）、新年特集号（炉辺談話）、県民公開講座等について協議した。（長谷川）

5 郡市医師会労災・自賠責保険担当理事協議会・労災保険医療委員会合同会議
（11月7日）

山口労働局から、労災レセプト電算処理システム普及促進、人身交通事故による自賠責診療と労災診療の調整事案への対応等の説明が行われ、その後、自賠責保険医療連絡協議会での事例結果報告等を行った。（清水）

6 郡市医師会産業保健担当理事協議会（11月7日）

日本医師会館で開催された「第41回産業保健活動推進全国会議」の報告後、本会主催・郡市医師会協力による産業医研修会の令和元年度の実施結果の報告を行った。その後、産業医に関わる各郡市医師会での問題点について意見交換を行った。（中村）

7 日医女性医師支援センター事業中国四国ブロック会議（11月10日）

高知県医師会の担当により岡山市で開催され、①日本医師会女性医師支援センター事業の報告、②各県における病児・病後児保育の状況及び男女共同参画における医師会と大学の連携に係る取組状況の報告及び質疑応答が行われた。その後、次期担当県を鳥取県とし、令和2年11月15日に開催することが決定された。（前川）

8 県民公開講座（11月10日）

「いのち きずな やさしさ」をテーマに募集した第10回フォトコンテストの表彰式、近畿大学生物理工学部の谷本道哉 准教授による特別講演「100歳まで元気に過ごすための運動処方」が行われ、参加者は230名であった。（今村）

9 中国四国医師会連合医事紛争研究会（11月10日）

院内事故調査実施中の弁護士への介入、前医の診療内容に関する後医の批判等、各県からの7議題について協議し、医師賠償責任保険の初期対応等について日医へ要望を行った。また、本会の末永汎本顧問弁護士からの情報提供により、医療事故により死亡した高齢者に対する慰謝料の考え方について意見交換を行った。（林）

10 第1回山口県国民健康保険運営協議会（11月12日）

平成30年度国民健康保険料特別会計決算剰余金の使途、国民健康保険事業費納付金の激変緩和措置等について協議を行った。（沖中）

11 県民の健康と医療を考える会総会（11月12日）

「国民医療を守るための国民運動」として、「決議」の採択を行い、県知事、県議会議長、県選出国會議員へ決議文を送付することが決定した。また、これまで「県民の健康と医療を考える会」主催で年1回開催していた県民公開講座は、開催意義が薄れてきたことから、定例的な開催はしないこととなった。

（今村）

12 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会（11月13日）

山口支部における事務処理誤り、公益代表監事の選任等について報告が行われた。（河村会長）

13 衛生検査所立入検査「周南」・「下松」（11月14日）

2施設において、検査業務や事務作業等に関する事項の立入検査を実施した。

（沖中）

14 献血推進ポスター・作文審査委員会（11月14日）

山口県献血推進協議会が募集した標記ポスター及び作文について、部門ごとに最優秀、優秀、佳作を決定した。（河村会長）

15 個別指導「山口市」（11月14日）

10医療機関の立会を行った。（萬、清水、郷良、伊藤、吉水）

16 第1回山口県医師臨床研修推進センター運営会議（11月14日）

令和元年度上半期の事業報告後、令和元年度医師臨床研修マッチング結果、山口県（行政）の医師確保対策、山口大学医学部附属病院の取組みについて協議し、意見交換を行った。（中村）

17 第154回生涯研修セミナー（11月17日）

山口大学大学院創成科学研究科の瀧本浩一 准教授による「山口県の災害リスクとその備えについて」のほか、「高齢者終末期医療の現状と課題－わが国と諸外国との比較－」、「万病のもと、慢性炎症とは？」、「新たな概念による膠原病診療－全身性エリテマトーデス、全身性強皮症の克服に向けた試み－」の講演を行った。参加者76名。（加藤）

18 山口大学医学部講義（11月18日）

山口大学医学部医学科4年生に対して、「地域医療と医師会」と題して講義を行った。「医師会とは」「医学生や研修医への支援」「医師会の取組み（事業）」「かかりつけ医を中心としたまちづくり」等について説明を行った。

（河村会長）

19 日本医師会監事会（11月19日）

会計の収支報告と医師年金の報告を受けた。（河村会長）

20 日本医師会第8回理事会（11月19日）

第3回都道府県医師会長協議会の開催、日本医師会表彰規程改正、2019年度防災訓練（災害時情報通信訓練）南海トラフ大震災想定訓練の実施等について協議を行った。（河村会長）

山福株式会社取締役会

出席者 取締役8名 監査役3名

1 上半期の決算報告について

佐伯常務取締役から中間決算及び下半期予定が説明され、原案どおり、承認された。